

Doc.No: NR021007

2002年10月7日

PlateRiteシリーズに最上位機種と同等の高品質を実現できるエコノミータイプ
「PlateRite 8100」「PlateRite 4100」をラインナップ

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：森野 富次)は、エコノミータイプのサーマルCTP(=Computer to Plate)「PlateRite 8100」および「PlateRite 4100」を10月25日から販売します。

印刷業界においては、CTPが急速に普及しつつあり、設備投資額と印刷物の仕事量の兼ね合いからコストパフォーマンスの高いエコノミータイプのCTPへの要望が高まっています。今回発売する「PlateRite 8100」および「PlateRite 4100」はそのようなニーズに応えた装置で、四六全判の印刷機に対応した「PlateRite 8000」シリーズと四六半裁判印刷機に対応した「PlateRite 4000」シリーズの新ラインナップ。従来シリーズと同様、サーマルプレートを利用した高品質出力を継承すると同時に、導入しやすい低価格を実現しています。また、露光直前に自動で高精度にパンチングし、印刷機の立ち上げを大幅に短縮できる内蔵パンチ機構(オプション)を搭載できるなど、高機能も維持。高品質な印刷物の制作を目指す企業のニーズに対応し、CTPに関心を寄せながらも導入に慎重だった新たな顧客層へのサーマルCTPの普及を目指します。

いずれもプレートの供給はセミオートローディングを標準装備。オプションにより、オートローディングも可能で、50枚のプレートを収納できるシングルカセットオートローダーを2003年1月に発売予定です。

< 国内希望販売価格(消費税別) >

「PlateRite 8100」 3,000万円

「PlateRite 4100」 1,600万円

< 販売開始日 >

2002年10月25日

< 年間販売予定台数 >

各200台



PlateRite 4100

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)